

『未来への扉を開く ともに始める新しいまちづくり』

本年は、私たちのまち・相模原市が、戦後に誕生した市として、初めて政令指定都市になるという、まさに歴史の 1 ページを刻む年となります。

昨年 10 月 28 日に「指定都市に関する政令の一部を改正する政令」が公布され、本市は、本年 4 月から政令指定都市となることが正式に決定いたしました。これにより、本市は、これまで以上に、主体的なまちづくりが可能となるため、市民の皆様生活に直結した課題に対応する、より質の高い行政サービスの提供や、首都圏南西部における広域交流拠点都市として、この地域の発展の牽引役を担うことなど、重要な責務と役割を果たしていくこととなり、私といたしましても、決意を新たにするところであります。

今日、私たちを取り巻く環境は、まさに「試練と変革」の時であると言えるでしょう。昨年を振り返りますと、世界的な経済不況の影響は色濃く、国内の経済情勢・雇用情勢は依然として厳しい状況です。また、全国的に感染が広がり、予期せぬ重症化や小中学校の休校など、市民生活にも大きな影響を与えている新型インフルエンザの流行も未だ予断を許しません。さらに、国政においては、政権政党の交代があるなど、日々刻々と変化しております。

こうした中、本市は、市民の皆様にも最も身近な自治体として、心豊かに安心して暮らせる地域づくりや、将来の相模原のあるべき姿に向けた取り組みを市民の皆様とともに着実に進めていかななくてはなりません。

こうしたことから、本年は、『未来への扉を開く ともに始める新しいまちづくり』をテーマといたしまして

- ① 次代を拓く子どもの健やかな育ちを支える
- ② 「安心」と「やさしさ」があふれる地域をつくる
- ③ 身近な暮らしの中から持続可能な社会づくりを始める
- ④ 都市のにぎわいと活力を底上げする
- ⑤ 地域の個性と市民の活力が光るまちづくりを進める

の 5 つを柱に市政運営に取り組んでまいります。

主な取り組みといたしまして

① **次代を拓く子どもの健やかな育ちを支える** として

保育所の待機児童解消に向けた緊急的な対策や、児童相談所設置に伴う児童、子育てに関する相談・援助など総合的な支援体制の充実など

② **「安心」と「やさしさ」があふれる地域をつくる** として

高齢者を支える地域ケア体制を充実するためのネットワークの構築、特別養護老人ホームの整備促進や、地震などの災害や感染症の拡大などの健康危機に対応する危機管理体制の構築など

③ **身近な暮らしの中から持続可能な社会づくりを始める** として

太陽光発電設備の設置促進や、屋上緑化・生垣づくりなどの緑化活動への支援、地域で行われている集団資源回収の仕組みの見直しなど

④ **都市のにぎわいと活力を底上げする** として

強固な産業集積基盤の形成と将来にわたる持続的な市内産業の発展のため、新たな産業集積方策の推進や工業系産業用地の創出に向けた取り組みなど

⑤ **地域の個性と市民の活力が光るまちづくりを進める** として

区民会議やまちづくり会議など、区制を生かした地域自治の確立や、自治会組織の活性化や地域活動団体相互の連携強化の取り組みなどを進めてまいります。

本年は、これからの本市のグランドデザインというべき『新・相模原市総合計画』がスタートします。この計画に掲げた都市像である「人・自然・産業が共生する 活力あるさがみはら」の実現に向け、必要な施策を着実に推進するよう全力を傾注してまいります。また、4月の政令指定都市移行に向け、各種窓口業務や新たな事務などにつきましては、引き続き市民の皆様への周知に努めるとともに、円滑な実施に向け、万全を期して臨んでまいります。

企画政策課 電話 042(769)8203
